昔の写真　と　今の写真　２

栖雲寺に一通の手紙が届き、開封すると写真左の絵葉書が入っておりました。たより３１号にも違う絵葉書の写真を掲載しましたが、その時に落札をお願いした知人が後日この写真が出品されているのを見つけて落札し送ってくれたのです。粋なはからいをありがとうございました。撮影場所を想定し、近そうな所から撮影してみました。

●宝物風入れ展は規模を縮小　11月6日～8日　3日間

今年は縮小版で開催します。苦渋の決断ではありますが、展示品を厳選し宝物館を開放するだけの展示方法を考えております。囲炉裏カフェも残念ながらオープンできませんし、昨年初開催で好評だった法話スペシャルも断念しました。蕎麦奉納だけは8日に行い万民和楽ご祈祷を行いますが、やはり蕎麦のふるまいは実施いたしません。また重要文化財の普応国師像は神奈川県立歴史博物館に貸し出しが決まっておりますので、天目山で見られない分、感染対策がしっかり施された博物館の広いスペースでご観覧ください。

●神奈川県立歴史博物館　特別展

１０月１０日～１１月２９日

相模川流域のみほとけ

期間中、普応国師(重文)が展示されます。どうぞ足をお運びください。

＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など

住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌

Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより

天　目

第３３号

発行日

令和２年９月１日

和　顔　愛　語

「お布施」というとどんなことを想像しますか？お寺に納める金品、そしてお金や物を持っていないとできない行だと考えている人も多いと思います。しかし、布施には多くの種類があり、その中にはお金も何も持たなくても今日この瞬間から実践できる布施の行もたくさんあります。和やか、穏やかな顔つきで人と接し（和顔施）、思いやりのある優しい言葉で会話をする（愛語施）こともその内で、合わせた「和顔愛語」は有名な禅語です。にこにこ笑顔と優しい言葉は世の中を明るく楽しくしてくれますし、人間関係もよくしてくれます。周囲の人に幸福を与えつつ、自分も幸福になれて一石二鳥ですね。

お金や物だと、つい出し惜しみしたくなることもあるでしょうが、和顔施と愛語施の実践に惜しむものなど何もありません。ちょっとした心がけしだいです。気の合う友人といる時には無意識に出る笑顔ですが、疲れているときほど、気分が沈んでいるときほどちょっと意識して笑顔で明るく挨拶してみましょう。また、親しい友人への態度と同様に、たまたま道で見かけた困っている人や、機嫌が悪そうに見える初対面の人などにも意識して優しい言葉で接してみましょう。人生を大きく変えるチャンスかもしれませんよ。

観音様は私たちの心を映し出した仏様であり、鏡に映った私たちの心のかたちです。つまりお寺の中央におまつりされているのは自分の中にある思いやりの心。姿かたちの無い心である「思いやり」を擬人化したらこうなりましたというお姿です。大流行した新型コロナウイルスは世界中の人々の様々な心を映し出しました。寄り添い支え合う思いやりの心、危険を顧みず他の命を懸命に守った勇敢な心。また誹謗中傷、人種差別、貧富の格差、ナショナリズムなど負の側面も。このように実態の無い心ではあるが「天上天下唯我独尊」すべての人は尊く思いやりの心に満ちていると示してくださったのがお釈迦様。そんな観音様の心を見失わぬよう精進してまいりましょう。

今、目の前にいる人に笑顔で投げかけた優しい言葉は、この世界を回り回って自分の知らない誰かに笑顔を作り、最後は自分に返ってきます。そしてその返ってきた言葉はきっと自分に笑顔を作ってくれます。反対に不機嫌な態度やきつい言葉も、目の前の人だけに留まらず、伝染していつか自分に返ってくることでしょう。些細なことで目くじらを立てていませんか？「やられたらやり返す。倍返しだ！」を双方が繰り返していては、けんかや争いの絶えない世界になってしまいます。「やられたらやり返す。でも半返しだ！」くらいに自制すればきっといつかは怒りもなくなります。笑う門には福来たるとも言います。いいことや面白いことがあったから笑顔になるのは簡単。そうではなく今日からは笑顔でいればきっといいことがあるんだ、そして自分の将来はこの笑顔で決まるんだと信じ、眉間のしわとへの字になっている口元を、お金などかけずともプチ整形してみてはいかがでしょうか？

合掌

＜原稿の一部は2009年に発行された「心がまあるくなる禅の教え」に向けて書いたものです。省略された部分もあったので、初稿を令和風にアレンジし今号改めての掲載としました。＞

【令和2年　春夏報告】

境内の九輪草

　栖雲寺の裏庭に九輪草(クリンソウ)が自生をはじめました。その数は徐々に増えてきて、昨年はそれほど目立たなかったのですが、今年は5月から6月にかけて30株ほど咲きました。
　九輪とはもともと五重塔など仏塔頂上の柱にある九重の輪装飾の事で、地面から出てきた芽が伸びて一段、二段、三段・・・と咲くところが九輪に似ているところから名付けられた野草です。その名の由来からしても、お寺にぴったりな花です。
　山間部の湿地帯などに咲く野草なので、お寺の裏庭に群生しているというのは非常に珍しい花だと聞きました。そんな九輪草を裏庭一面に増やしていこうと思い大和地区の若者たちに声をかけてみたところ、7名もの賛同を得て協力を約束してくれたので「九輪草を増やす会」を立ち上げ、花の終わった7月11日に茎から種を採取し、作った花壇やプランター、小川の周辺などに蒔いてみました。芽が出てくれるかどうかは冬を越さないとわかりません。栽培はまだ模索中ですが、今後は9月と越冬後の3月頃に株分けを行っていきます。
　九輪草を増やす会にご賛同いただける方、ぜひお手伝いください。

頂上部分の輪飾りが九輪

裏庭に咲いた九輪草

念願の五右衛門風呂が見つかりました

　今年になってから探しはじめた五右衛門風呂。昔はどの家にもあったものだし、すぐに見つかるだろうと簡単に考えておりましたら、これが全く見つからない。声掛けの範囲を徐々に拡大して栖雲寺の檀家さん、父が住職するお寺の檀家さん、産廃業者、解体業者、知人、友人、インターネットなど、人脈を最大限に利用しておそらく1,000人を超える人に尋ねてきたと思います。
　探して探した末にやっと、山梨県人会のつながりから見つかりました。結局はすぐ近く、甲州市内の方がお持ちでしたので、早速連絡を取り拝見してまいりました。一目惚れです。
　庫裏などの文化財建造物に万が一の事があってはいけないので、専門家の意見も聞きながら設置場所等を検討し、新緑の、紅葉の、星空の露天風呂を実現したいと思います。風呂探しにご協力いただいた皆様には心から感謝申し上げます。
　また、気が早いですが設置が可能なら二つ目、三つ目も考えておりますので、引き続き五右衛門情報をお寄せいただけたら幸いです。

20年間空き家の古民家に残っていました

拝見した五右衛門風呂

ＵＴＹテレビ山梨に出演

　夕方の情報番組スゴロク内の「みほとけのぶらり巡礼のススメ」のコーナーで栖雲寺が取り上げられました。台本を渡されるとそれを覚えて追いかけることばかりが気になり頭の中が真っ白になってしまうため苦手なので、台本を断り全てアドリブでお願いしました。県内の檀家様や知人友人等にはご案内しましたので、多くの方にご視聴いただけたものと思います。
　ロケで来てくれた「みほとけちゃん」はミス鎌倉の経歴を持つ芸人さん。驚いたことに建長寺山内寺院の檀家様でもあり、お互い盛り上がって話が止まらず、撮影中にも脱線してばかりで、終いには抹茶など点てて囲炉裏で飲みだす始末。約2時間の予定だったロケ時間を大幅に超えてしまい、スタッフの皆様には多大なご迷惑をおかけしました。
　おそらくこういうことがあるから台本を渡したかったのでしょうね。反省。

アイリン　ブループロジェクト　に参加

　覚えていらっしゃるでしょうか？東日本大震災が発生した直後のニュースです。高台にあって安全で避難所にもなっていた幼稚園から出発した園児の送迎バスが津波警報の中を海に向かって走り出し、そこで津波に飲み込まれたあの事故を。その時の対応次第では救えた命であったかもしれません。人的被害だとその後裁判にも発展しました。
　僅か6歳で帰らぬ人となった佐藤愛梨ちゃんの最期の場所に真っ白な花が咲いたそうです。その奇跡の花を「あいりちゃん」と名付け、世界に広め、防災意識の低下を防ごうというプロジェクト。多くの企業も協賛しています。一番の防災は忘れないこと。栖雲寺境内でも観音様の横に「あいりちゃん」の苗3株を植えさせてもらいました。鹿が食べてしまわないか心配ですが、いつの日にか観音様を取り囲むように咲いてくれたらと願い育ててみます。
　地震、大雨、疫病・・・天災は忘れたころにやってくる。多くの命を救うために、お互い防災意識を高めてまいりましょう。

今日の射雲

　矢道は石庭。射位は石庭中央の水平な石の上。的は石庭西端の斜面。
　参拝者のいない早朝に、キセキレイの透き通った声を聴きながら・・・・